



2021年度

「りりこ賞」受賞校の紹介

カゴメは、プレゼントしたトマトの苗を通して、トマト栽培や食育活動で得られた成果を収集するために、毎年「りりこわくわく食育実践レポート」を募集しています。

お寄せいただいたレポートには、子どもたちの気づきや学び、また、ご指導にあられた先生方のお知恵や工夫など、たくさんの貴重な情報がつまっています。これらが、当活動の原動力となっており、優秀実践校の取り組みを広く紹介することで、わくわくするような食育の輪が広がっていくと考えております。

2021年度は、4校を優秀実践事例「りりこ賞」として選出いたしました。
各校・園の詳しい実践レポートは、「りりこわくわくプログラム」サイトで公開しています。
ぜひ、ご一読ください。



テーマ

自分の凛々子は、みんなの凛々子



左から
宇野 恭子先生・田川 萌々乃先生・
竹内 悠古先生・小倉 さや香先生

一人一苗を育てることで「自分のトマト」という意識を持ち、活動しました。また、栽培活動の折々に物語性を持たせ、子どもたちが主人公になれるように工夫しました。トマトが雨に打たれて倒れていることを園長先生から聞いて畑に急行して、支柱を立てることの必要性を体感したり、平和学習の中で、トマトが出てくる絵本を使って物語に入り込めるようにしたりしました。トマトを大切に育てることから、植物の生長の不思議に触れ、自然の力を体感。そして、調理活動を通して食べ物大切さはもちろん、食そのものに対する探求心も深めることができ、さらに平和学習の中では平和でなければトマトが育てられないこと、食べた時にうれしかったこと、笑いあったことこそが平和であると考えられる学習ができました。

活動のハイライト



手作りケチャップ
に感動



平和学習
トマトと自然のつな
がりを考える

活動のねらい

- 「自分のトマト」を栽培することを通して、栽培の楽しさに気づき、自然とのつながりを感じる
- 収穫後に自らの手でトマトを調理して味わうことで、食べ物への感謝の気持ちを育む

東京都
ゆうき山
保育園
5歳児
17名

テーマ

トマトから広がる色んな世界



蒲原 紗智代先生

土作り、鉢へのお絵描き、ペットボトルのジョウロ作りなど栽培前から参加意識を高める工夫をしました。こうすることで、休みの友達の鉢にも水をやったり、周りにも目を向けるやさしさが見られるように。また、それぞれの苗の生長スピードが違うことから「みんなが同じではない」ことを知る良い機会となりました。保護者との連携は、栽培の過程を動画やクラスだよりで発信して促進。親子の話題にのぼる様子も見られました。収穫したトマトを自宅に持ち帰ると多くの保護者が調理とレシピ提出に協力していただきました。総まとめとして「トマトクイズ図鑑」を作成。栽培前の疑問の答えが生長記録にあることを発見したり、想定と違ったり。子どもたちの新たな一面の発見に満ちた取り組みとなりました。

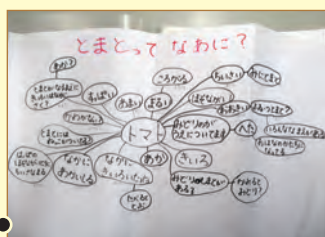
活動のハイライト

活動のねらい

- トマトの生長過程を知り、収穫や調理を楽しむ
- トマトの栽培に保護者にも目を向けてもらうことで、子どもと保護者のやりとりのきっかけを作る
- 一人ひとりが責任を持って、一つのことに取り組む機会とする



鉢へのお絵描き



トマトクイズ図鑑

神奈川県
横浜市立
あざみ野
第一小学校
3年生
100名

テーマ

リリコプロジェクト



左から
富田 剛史先生・鈴木 夏未先生・石坂 蕙子先生

地域の方にご協力いただき、畑の準備をしました。コロナ禍で調理実習はできないものの、夏休みに児童と保護者が来校し、トマトを収穫。持ち帰ってトマト料理を作って食べ、レシピにまとめました。夏休み明けに「ロイロノート」で作った発表カードをモニターに写して発表。発表後には、トマトについてもっと知りたいことや、やってみたいことについて各自テーマを決めて実践しました。自分たちの経験を活かしてほしいと考えた児童は、来年の三年生のためにかかしやレシピ本を作りました。「受賞できたのは地域の方の協力のおかげ」という思いを伝えるため、感謝を表す劇を考えたり、お礼の手紙を書いたりなど、さまざまな活動につながっています。

活動のハイライト

活動のねらい

- 身近な自然から問題を見つけ、意欲的に解決する力を養う
- 児童が主体的に自然環境をみつめ、豊かな感性を育む



地域の方々への感謝を表す劇をした



来年のために資料をまとめ、かかしを作った



神奈川県
横浜市立
日枝小学校
個別支援学級
29名

テーマ

トマトで笑顔にトマピース！



左から
山本 彩乃先生・濱津 鼓先生・佐藤 裕幸先生・
石田 健人先生・蓮香 智子先生

愛着を持って育てられるよう、植える前に土作りをし、名前を付けて定植。さまざまなやりたいたことが出てきて、「大きくて甘いトマトを育ててみんなを笑顔にする『トマピース!』になりたい」という単元が立ち上がりました。関連する教科にも広げようと、国語・算数・理科・道徳の各教科を横断して総時間数70時間の授業を展開。年間を通した単元となるよう夏に収穫したトマトの種を保存しておき、秋冬にかけて温室でトマトを栽培することにも挑戦しました。また、地域の資源循環局の方に来校してもらい、生ごみからの土作りを学び土づくりの方法を全校に発信しました。この活動を通じて、食に興味を持ち、苦手なものにも挑戦しようという姿が見られ、大きな成長を感じることができました。

活動のハイライト

活動のねらい

- 野菜にも生命があることに気づき、生長して食べられるようになるまでには、たくさんの人の関わりがあることを知る
- トマトを収穫して食べることで、食べてもらうことで自らの食生活を豊かにしようとする



名前を付けて栽培



資源循環局の方に
生ごみからの土作り
を教えてもらった

「りりこ賞」受賞校とのふれあいを通して



2021年度もたくさんの学校・園より「りりこわくわく食育実践レポート」をお送りいただきありがとうございます。

オンライン上で受賞校の皆さんとふれあい、たくさんの笑顔に出会うことができました。画面越しに表彰したり、生徒や園児の皆さんから栽培に関する感想を伺ったりしました。その中で、土にふれる喜びや、害虫等の被害に遭ったときのくやしさを、実が赤く色づいたときの感動、「トマトケチャップが手作りできるんだ!」という発見など、子どもたちの様々な感情を知ることができました。本プログラムを通して一生懸命考え、手を動かし活動して下さったことに感謝の気持ちでいっぱいです。子どもたちの生活においてもデジタル化が加速する中、本プログラムの活動が五感を使った貴重な体験の機会となり、自然とのふれあいや周りの人々との関わりにおける様々な気づきにつながっていれば幸いです。

様々な制約や多くの配慮を伴う中、この活動を工夫しながら支えていただいた先生方、本当にありがとうございました。今後も本プログラムを通して「命への関心」と「感謝する心」を育み、「野菜好き」につながる食育活動を推進してまいります。引き続きのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



広告部 宣伝グループ
田口 るみこ

りりこわくわく食育実践レポート 募集要項

貴校・貴園でのトマトの栽培・調理活動についてレポートを募集しています。

レポートを提出いただいた学校・園には、
「2023年度りりこわくわくプログラム」を優先的にご案内します。

応募資格

「トマト」の苗の栽培・調理活動（2022年度は学校・園、給食、家庭等やり方は問わない）に取り組んだ学校・園の教職員の方

選考基準

- 子どもたちが積極的に栽培活動に取り組み、食への興味・関心を高める内容であること。
- 他校の参考となり、活用できる内容であること。（例）工夫した栽培、他の学年へ情報や収穫したトマトの共有、など

賞

今年度の優秀実践事例として選出された学校・園には、
「りりこ賞」として記念盾および賞金5万円を進呈いたします。

応募締切

2022年11月25日（金） ※応募事例の著作権は、カゴメ株式会社に帰属します。

応募方法

郵送

応募用紙※に必要事項をご記入の上、下記までお送りください。

※「りりこわくわくプログラム」サイト内の「学習関連資料ダウンロード」よりMicrosoft Wordデータをダウンロードしてください。

応募方法をダウンロードする

URL → <https://www.kagome.co.jp/syokuiku/love/tomato-nae/guidebook/>

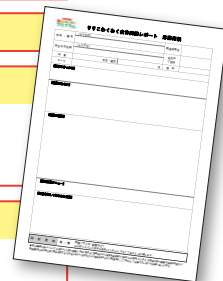
応募用紙に必要事項を記入する

応募用紙と資料（レポート）を送付

※ご提出いただいた応募用紙や資料・作品類はご返却いたしません。
子どもたちの絵日記や作文などの作品は、必ずコピーをお送りください。

送り先

〒104-8691 日本郵便株式会社 晴海郵便局私書箱 第201号
りりこわくわく食育実践レポート 係



WEB

りりこわくわくプログラム「トマコミ」のサイトにアクセス

URL → <https://and.kagome.co.jp/enquete/index/wakuwakureport2022>



お問い合わせ先

■ 配送・レポートに関するお問い合わせ：1～5月、11～12月
カゴメトマトの苗事務局 Tel: 0120-047-831 ※受付時間/10:00～17:00（土日祝日を除く）

■ トマトの生育に関するお問い合わせ：
トマトの苗 生育相談室（4～10月）
<https://tomatonae.com/kagome/seiiku/>



■ その他のお問い合わせ：
&KAGOME事務局（6～10月）
<https://and.kagome.co.jp/inquiry/>

